

SOL COURT

街の日常に、庭をひらく。



市場・中庭・図書室を結ぶ建築の設計提案

通り過ぎる街に、 立ち止まる理由を。

日々の買い物をする人、本を読みに来る人、ただ近道をする人。目的の違う人たちが、無理に交流しなくても同じ場所に居合わせる。そのための小さな公共空間を、市場と図書室のあいだに置きました。

街路に沿う低い屋根は、建物の入口を一つに絞りません。市場へ向かう動線の途中に木陰があり、その奥に静かな読書の場所がある。過ごし方の距離を設計する試みです。



庭と軒下が、異なる時間をつなぐ。

買い物の先に、ひと休みがある。



街に向かって開く市場。庭の木陰と軒下が、日々の買い物の途中に立ち止まれる場所をつくれます。

賑わいから少し離れて、自分の時間へ。

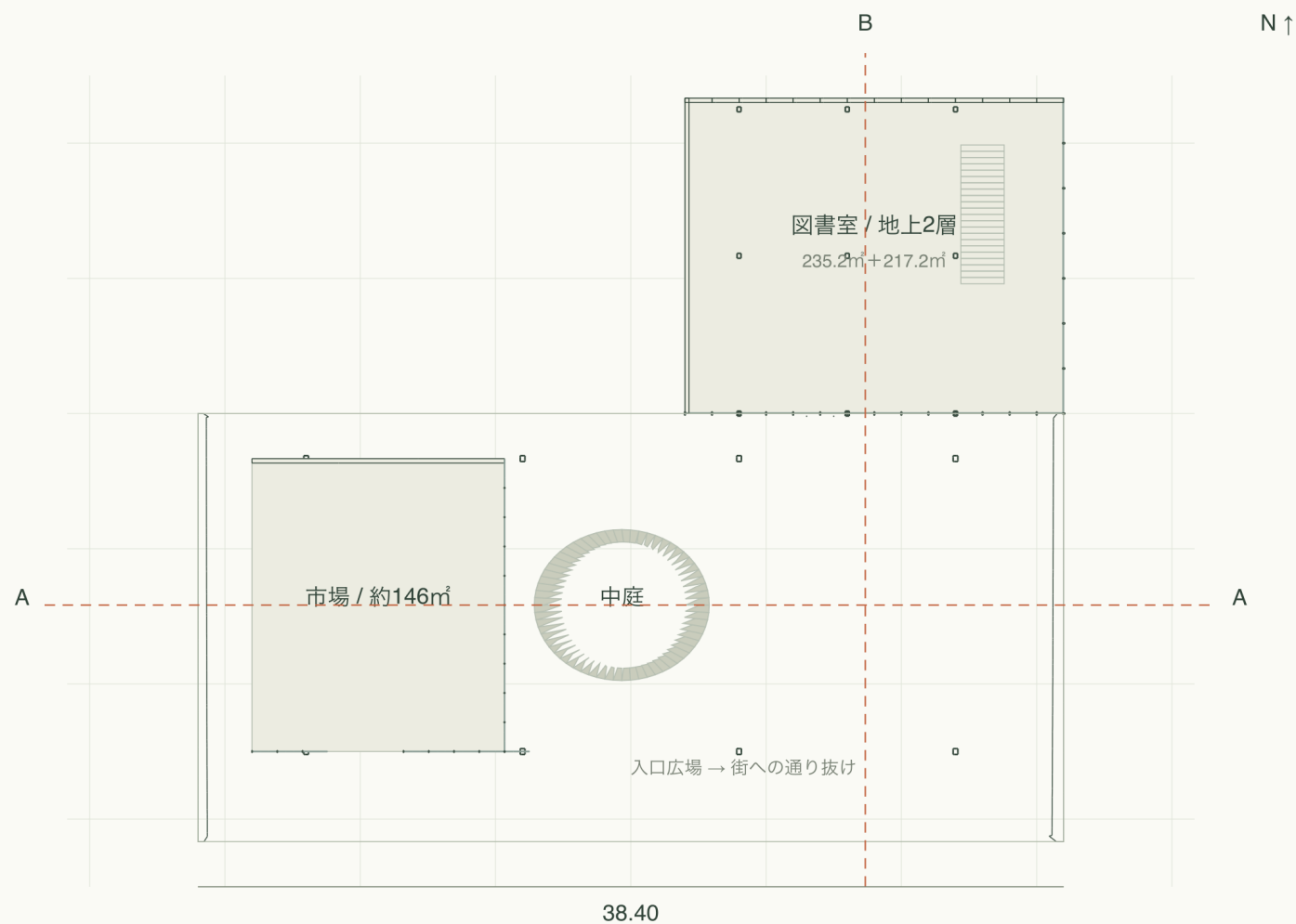


庭に向き合う読書室。木のテーブル、手元の灯り、椅子の布。大きな屋根から、手に触れるところまで。

市場と図書室は、中庭を挟んで互いの気配を感じられる距離にあります。にぎやかさと静けさを、庭の余白でつなぎます。

庭を中心に、場所をつなぐ。

SOL COURT / 基本モデルによる空間構成の検討 / 単位 m



模式的な設計検討図 / 実施図・法定面積図ではありません

市場・中庭・二層の図書室の位置関係を示す計画検討図。

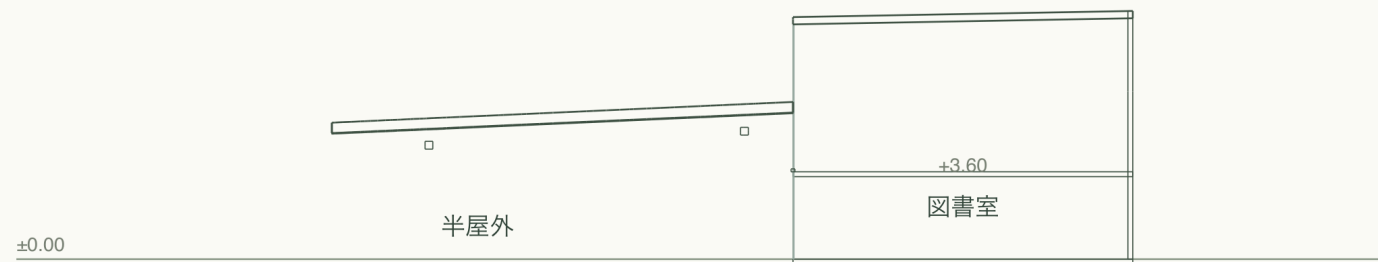
屋根と光の関係。

SOL COURT / 基本モデルによる空間構成の検討 / 単位 m

A-A / 市場と中庭を横断



B-B / 入口から図書室へ



部材は仮寸法 / 構造・接合・防水・避難の検証前

市場と中庭を横断する断面、入口から図書室へ続く断面。

新しい建築を、いつもの街のなかへ。



夕方には、市場と図書室の灯りが庭を挟んで向き合う。誰かの帰り道に、少しでも長く居たくなる場所を残すこと。それがこの計画の出発点です。

本資料は設計提案です。掲載パースは完成建物の実写ではありません。図面は基本モデルによる計画検討図であり、パース・最新モデルとの細部は調整中です。実施設計・構造計算・法規適合の確認を完了した資料ではありません。